

平成28年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	平成28年8月4日(木) 16:00~17:10	
場 所	天神スカイホール ウェストルーム	
出席者	委員	福岡市医師会 副会長 寺坂 禮治 佐田病院 理事長 佐田 正之 福岡県看護協会 会長 花岡 夏子 公認会計士 行正 晴實
	事務局	福岡市保健福祉局理事, 同健康医療部長, 同医療事業課長
	病院機構	理事長, 副理事長, 運営本部長, 法人運営課長, 福岡市立こども病院事務部長, 同総務課長, 同医事課長, 福岡市民病院事務部長, 同総務課長
次 第	1 開会 2 議事 (1) 平成27年度業務実績評価について (2) 評価に対する意見申立てについて (3) 平成27年度財務諸表の承認にあたっての意見について 3 その他	
配付資料	資 料 1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度の業務実績に関する 評価結果報告書(案) 資 料 2 平成27年度財務諸表の承認にあたっての意見書(案) 参考資料 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度の業務実績に関する 評価結果(案)まとめ	

第1回委員会後の委員からの質問等について

○事務局

第1回評価委員会で配付した資料2（財務諸表等）と参考資料2-1（平成27年度決算について）に関して、委員会開催後に、委員からご指摘やご質問をいただいたため、本日の議題をご審議いただく前に病院機構からご報告差し上げるものです。

○病院機構（運営本部）

まず、資料2の28ページをお開き下さい。表中の「減価償却費の資産除去債務利息費用の3,350,741円については、減価償却費ではなく別の場所に計上すべきではないか」、また、「12ページの表に記載されている減価償却費の明細と金額が合わない」とのお尋ねがございました。

当機構をはじめとした地方独立行政法人は、総務省が定めた地方独立行政法人会計基準に従い会計処理を行っておりますが、この中に定めのないものや疑義が生じたものに関しては、会計監査人と協議の上、処理を行っているところです。お尋ねの資産除去債務利息費用につきましては、会計監査人との協議の結果、金額が300万円程度で重要性がないとの判断により減価償却費に計上したものでございます。

続きまして、参考資料2-1をお願いいたします。この中の1ページ、3ページ、5ページの9行目から12行目までにある「資産見返運営費負担金戻入等とは何か」とのお尋ねをいただいております。

資産見返運営費負担金戻入等とは、運営費負担金や補助金等により固定資産を取得した際の会計処理方法であり、先ほど申し上げた会計基準はそのほとんどが民間企業と同じであるのに対し、これは独立行政法人固有のものでございます。例えば、運営費負担金を例にすると、付託された事業を運営するための財源である運営費負担金を市から交付された時点では、いずれ事業を実施しなければならない債務（固定負債：資産見返運営費負担金）として計上し、減価償却を行う翌年度に当該償却費相当額を取り崩して収益（資産見返運営費負担金戻入）として計上することになっております。補助金、寄附金、物品受贈も同様でございます。

また、これらは「今後、増えていくのか、減っていくのか」というお尋ねもございましたが、ご説明したとおり、今後、運営費負担金等での資産取得状況に応じて計上していくことになります。

なお、6ページに参考として記載している運営費負担金（27年度決算：24億8千5百万円余）と5ページの資産見返運営費負担金につきましては、別物でございますので、二重で計上されている、というようなことではございません。

運営費負担金につきましては、救急医療や高度小児医療等の不採算医療等に係る経費の一部を総務省の基準に沿って受け入れているものでございますが、今後ともその抑制に向けて努力していきたいと考えております。

(1) 平成 27 年度業務実績評価について

○事務局

【資料 1 について説明】

○委員長

まずは、11～95 ページの小項目評価について、2 か所、評価を上方修正した案をご提示いただきましたが、何かご意見をお願いいたします。

○委員

実績値は妥当ではないかと思っています。32～35 ページについて、紹介率や逆紹介率は 27 年度実績が 26 年度実績を下回っているというご説明がありましたが、オープンカンファレンスは開催数も参加者数もかなり増えておりますし、開放型病床への登録医数も随分増えておりますので、評価は 4 でいいのではないかと考えております。

○委員

51 ページのこども病院の取組みについて、インターンシップを開催し 190 人の参加を得たことや、全職員対象の医療英語研修会、小児科専門医を目指す全研修医向けのランチゼミなど、私も大変感服したところでありまして、今回、評価 5 が無かったようなので、これは 5 をあげてもいいのではないかと思います。

○委員長

九大病院もさることながら、こども病院も国際化という点に関しては、市内・県内でトップを走っていると思います。この医療英語研修会というのは、特別に外部の講師を呼んだのでしょうか。

○病院機構（こども病院）

マレーシア出身で九大医学部を卒業した、英語・中国語ができる医者を中心にしており、かつ、ネイティブな教材を活用して、勉強会を行っております。

○委員長

通訳が必要になるのは、大体、時間内ですか。

○病院機構（こども病院）

時間外もまれにありますが、それほど多くありません。

○委員長

福岡市では、外国人対応もこれから増えてくると思いますし、言語も英語だけではなく、中国語や韓国語などマイノリティの方も必要になると思います。

○委員

前回の委員会で、国際医療支援センターの開設が28年度という話がありましたが、今回の語学研修は、そのための準備、ステップを踏んだという評価の方がよいと思います。

○委員長

通常の病院は、頭では分かっているけれども日常の診療が忙しくて、なかなかここまでできないものですが、よく頑張っていると思います。

○事務局

ちなみに、103ページにある評価実施要領にもありますが、評価3は年度計画を順調に実施しているもの、評価4は上回って実施しているもの、評価5は大幅に上回って実施しているものとなっており、過去の年度評価実績といたしましては、評価5としたのは、26年度の新病院の移転・開院のみでございます。

○委員長

次に、44～45ページについて、市民病院の様々な取組みの結果、患者満足度調査で良い結果が出ているということで、なかなか医療の世界では成果が出ることは難しいのですが、これに対して何かご意見はありますか。

○委員

28年度目標値(80.0)に対して、27年度実績値(90.1)で既に達成されており、かなり頑張っているなという印象ですので、評価4で良いのではないのでしょうか。

○委員長

コンビニなどを見ていると、会計のレジが1つ増えるだけで流れが全然違ってくると思いますが、そういうアイデアを病院で実行することはなかなかできないことです。これは、院長のリーダーシップによるものだと思いますし、数字まで達成されているので、高い評価で良いと思います。

また、公的病院は患者が多く、待ち時間の解消というのは、なかなかできないことだと思います。

○委員

満足度調査に関して、26年度はピンポイントで、27年度は通年で行ったというご説明でしたが、通年で90を上回るというのは成果として評価していいのではないかと思います。

○委員長

我々病院の運営を行っているものからすると、診療報酬に関して、これまではどれだけ行ったかでよかったものが、今ではアウトカム評価、どれだけ成果を上げたかを求められるようになってきています。恐らく、近いうちにこういったものも診療報酬に繋がってくるのではないのでしょうか。これまで我々があまり重視してこなかったものですが、これは非常に大事なところだと思います。

○委員長

続きまして、4～9ページの大項目評価について、ご意見を伺いたいと思います。

○委員

市民病院が、自治体立優良病院に選ばれたことは、記載してもいいのではないのでしょうか。

○病院機構（市民病院）

その表彰は、今年の6月に受賞したものでございますので、来年の委員会で報告させていただきたいと思います。

○委員長

第1回委員会において、小児病院はそれぞれに特性があり、ベンチマーキングは難しいという話が出ましたが、こども病院においては九大病院と機能分担されているんですね。

○病院機構（こども病院）

九大病院は癌を扱っておりますが、こども病院では扱っておりません。

○委員長

市民病院は、脳卒中に関して、市内随一だと思います。九州医療センターが中心でしたが、段々と市民病院、東の方にシフトしてきている印象です。

こども病院は、医師数は十分足りているのですか。

○病院機構（こども病院）

現在、医師数は100名超ほどですが、全国的に足りない小児救急医と、産休に入った産科医の代わりがなかなか見つからないという状況です。

○委員長

最後に、2～3ページの全体評価について、ご意見をお願いいたします。

○委員

2 ページの評価の集計表を見ると、第2や第3の病院の業務運営という部分ではなかなか評価4が取れていない状況ですが、第1や第4といった本当に医療に関わる部分を見るととても素晴らしい評価で、私はこれが実態を表しているのではないかと思います。

○委員長

正にそのとおりだと思います。今、病院は医師数や医師の人材などなかなか運営、経営は厳しい状況です。

(2) 評価に対する意見申立てについて

○委員長

業務実績評価の方針におきまして、評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与すると定められております。

そこで、病院機構に対しまして、意見の申し立ての有無を確認させていただきます。

第1回評価委員会及び本日の審議経過を踏まえて、病院機構にお尋ねしますが、何か意見の申立てがございますでしょうか。

○病院機構（理事長）

特に意見の申立てはございません。

(3) 平成27年度財務諸表の承認にあたっての意見について

○事務局

【資料2について説明】

○各委員

(意見なし)

その他

○事務局

【第3回の日程、議事予定等について説明】

それでは、本日の委員会は、これで終了させていただきます。